

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

実践内容1：異文化交流会

日本の文化を学び、姉妹校で伝えると同時にカナダの文化を学ぶ。

例年、交流会では中学3年生の全生徒が日本文化を伝えている。内容は「よさこい」、「折り紙」、「武道」をはじめとした日本独自の伝統、文化、歌などを披露で、9月下旬より活動をはじめ、2月まで準備している。

今年度は「よさこい」「折り紙」「歌」の披露をした。「よさこい」は本校のダンス部を中心に有志のメンバーで構成され、定期的に居残り練習し、「折り紙」は小さな三角形のパーツを組み合わせた作品を制作し、「歌」は、音楽や朝学習の時間を利用して練習してきた「大地讃頌」を全員で合唱した。また、今年度はカナダの文化を交流会で知るだけでなく、姉妹校の生徒と共に資料館などを訪問して、カナダ建国の歴史などについて学ぶ校外学習も実施した。

語学研修5日目、ホストファミリーの生徒と一緒にそれぞれの学校へ登校して授業と一緒に受け、その後、文化交流会を行った。時間をかけて、丁寧に作成したプレゼントの披露、竹太鼓・演武・踊りを披露しました。生徒たちの顔はやりきった充実感であふれていた。

実践内容2：多文化共生学習

国際社会で共感、協調して生きていくためのテーマに沿った事前学習、現地調査を行い、報告する。

カナダ語学研修旅行に備えて、理科や社会の授業の中で、さらには特別授業を課し、ESD学習を踏まえた自然科学、科学技術に関する諸問題やカナダや民族について広く学習した。さらに、ESD学習として様々な課題を自らの問題としてとらえ、身近なところから取り組み、現代社会の課題を知り、その課題の解決につながる価値観や行動を生み出して持続可能な社会を創造していくことの必要性を学んだ。その原因に向き合って、解決するためにできることを考え、自然と命のつながりを感じ、伝統や文化と触れながら、人と自然、人と人との共存や多様な生き方を学ぶための第一歩として、いくつかのテーマ*から生徒一人一人または班で1つ選択した。10月頃から具体的な事前学習を行い、日本での問題点や現段階での自分の意見などを日本語と英語でまとめた。

*設定されたテーマ：環境、人口、エネルギー、国際理解、生物多様性、気候変動、防災、世界遺産、地域文化など（学年によって異なる。）

カナダ語学研修中のバンクーバー班別研修での現地交流やホームステイ中のインタビューで、個人テーマについての自分の意見を発信、共有し、カナダでのとらえ方やインタビューした人の考え方をまとめた。帰国後はすべてのテーマにおいて、多文化が共生していくために持続発展社会を作るために行うべきことを考える機会を持ち、提言を考え、それを研修記にまとめ、プレゼンテーションで発表した。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（カナダ語学研修期間中）